

# 津久井総合事務所を中心とした公共施設のあり方を考える 市民対話ワークショップNEWS 第1号



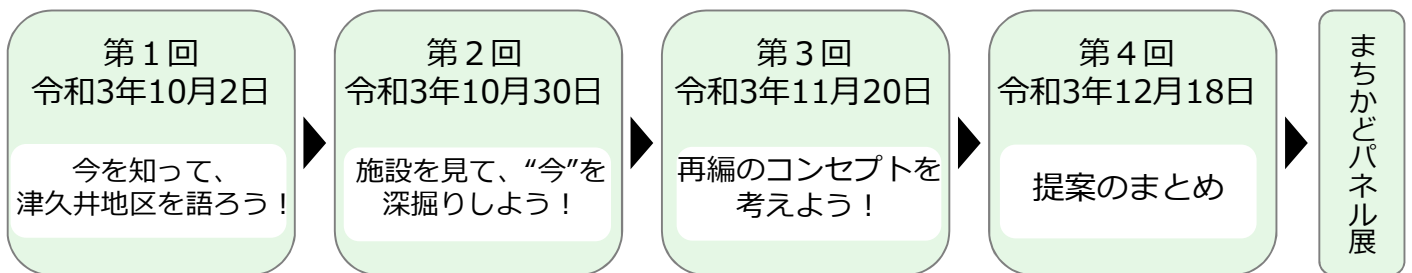
## ●総合事務所周辺の公共施設のあり方をみんなで考えています

老朽化が進む津久井総合事務所の建て替えをきっかけに、全4回のワークショップを通じて市民のみなさんとともに周辺公共施設を含めたこれからの望ましい公共施設のあり方を考え、施設の再編・再整備に向けた構想や計画につなげていきます。



津久井総合事務所

### 《全4回ワークショップ日程（予定）》



## ●第1回市民ワークショップを開催しました

ワークショップには、津久井地区にお住まいの方や地元の高校生など23名にご参加いただきました。第1回は「今を知って、津久井地区を語ろう！」をテーマに公共施設の思い出を画用紙に描き、様々な世代や立場の方が交流しながら意見交換を行い、津久井地区の魅力を再認識しました。

1. あいさつ・自己紹介  
・参加者みんなで自己紹介
2. グループワーク  
・公共施設の思い出を画用紙に描き、グループごとにまとめ
3. 発表・意見交換  
・グループごとの発表  
・芝浦工業大学学生がみた津久井地区の魅力と課題の発表
4. 市からの説明  
・公共施設マネジメントの取組等
5. まとめ  
・ファシリテーターによるまとめ



津久井高校の生徒も参加しました!!



### 本村市長からのあいさつ

人口減少や少子高齢化時代を迎え、財政が厳しい状況の中でまちづくりを考えていくことが私たちの課題となっています。

まちに対して誇りや愛着、共感を持ち、そのまちに関わっていこうとする「シビックプライド」を育み、自分たちのまちは自分たちで作るという意識の下、地域の皆さんの意見や想いを集約して、まちづくりに反映していきたいと思っています。

都市と豊かな自然がベストミックスした相模原に住んでみたいと思っただけ、わくわくするまちづくりを進めてまいります。

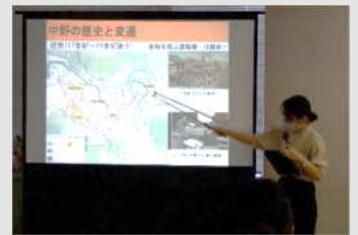


## ●グループワークの成果発表・意見交換

グループ	みんなが描いた津久井の魅力・公共施設の思い出（一部抜粋）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井湖から上がる花火や冬の観光センターのイルミネーションなど津久井の四季が魅力。</li> <li>小学校の頃に、津久井中央公民館で開催された書道展に作品を出品した。</li> <li>子どもの頃に津久井湖観光センターに遊びに来た。</li> <li>串川地域センターで吹奏楽の発表をした。</li> <li>津久井中央公民館で人形劇をした。</li> <li>津久井生涯学習センターに、子どもの剣道の送り迎えをよくしていた。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>30階建てのシンボリックな建物を作りたい。</li> <li>フラダンスをするイベント会場がほしい。</li> <li>山で競歩大会を行いたい。</li> <li>子どもの頃に公共施設で怒られたことがある。</li> <li>打ち上げ花火が湖に反射してきれいだった思い出がある。</li> <li>お茶ができるカフェを作りたい。</li> <li>戦隊ヒーローが好きなので、イベントができるスペースがほしい。</li> <li>気軽に運動ができる体育館など、いつでも自由に入れて運動不足を解消できる場所がほしい。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井には自然が多く、幼いころに山や川で遊んだ。</li> <li>実際に津久井中央公民館のホールを使って日本舞踊の発表をした。</li> <li>健康のために高齢者が利用できるプールがあると良い。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井の自然豊かな四季。津久井は一年中いい景色が見える。</li> <li>道志川で幼い頃に水遊びをした。できあがったものでないもので遊んだ。</li> <li>津久井湖の湖上祭は、楽しみや彩りを与えてくれる。自然との共生が魅力。</li> <li>自然を生かした里山での遊びをした。乳児からお年寄りまで使える施設がほしい。</li> <li>道の駅が道志のほうにはあるが、こちら（中野）の手前にもあると良い。</li> <li>里山の思い出。子どもたちが来てくれるし、道がないと仲間に話したら、車いすが通りやすい道を作ってくれた。</li> <li>公共施設という話だったが、自然も公共の一つとして捉えている。公共施設はみんなの心の中にキラキラした思い出として残ると、みんな戻ってくると思った。</li> </ul>

### 芝浦工業大学学生からの発表

- 津久井地区は山や湖、川など暮らしの近くに自然があることや文化や歴史的な観光資源があることなど魅力があると感じた。
- 津久井湖の整備前と整備後で、交易場所や住宅場所などに大きな変化があった。



## ●ファシリテーターのまとめ

- 自然に関する意見が多かったことから、自然は津久井地区の特徴であり、津久井地区の公共施設を考える上で重要になることが認識できました。

- 歴史から見ると、それぞれの時代の状況に町の人々が考えて対応していたことから、個からみんなで作った公共が生まれてきたことが分かります。
- 地元の高校生や大学生、地元の方々同士など世代を超えて作業をすると、新たな気づきがあります。公共施設という難しい課題と向き合い、楽しみながらワークショップに取り組めたらと思います。

### ～ファシリテーターご紹介～



志村 秀明教授  
 1968年東京都生まれ  
 芝浦工業大学  
 建築学部建築学科教授  
 博士（工学）、一級建築士  
 専門分野：まちづくり、市民参加、都市計画